

& LEDZ WORKS

LED 照明事例集

Synca

Creating value for people
and the earth.

調光・調色のその先へ。 光を感性でコントロールする時代が、 はじまる。

業界初! ろうそくから青空光までの「自然の光」「色味調整」「カラー調整」を1台で備えた、
次世代調光調色シリーズ『Synca (シンカ)』誕生 *当社調べ



Syncaの詳細や動画を
ご覧いただけます。
アクセスはこちらから。



一 台 三 役

スマートフォンで簡単操作

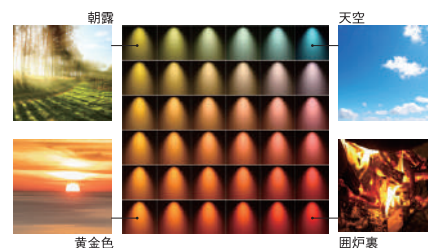
ろうそくの光から青空光まで、 自然の光を再現

一般的な色温度範囲が 2700K~6500K であるのに対し、
『Synca』はろうそくの 1800K から青空光の 12000K まで、人工
光源では実現できなかった幅広い光色の選択が可能です。



121 種類のカラー演出機能

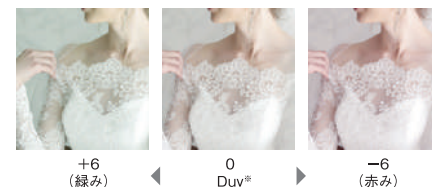
ライトアップ等で使用されるカラーライティングの濃い色彩ではな
い淡いトーンを基調とし、高演色性と演出性を実現。空間に馴
染む自然なカラーライティングで、日常に季節感を取り入れます。



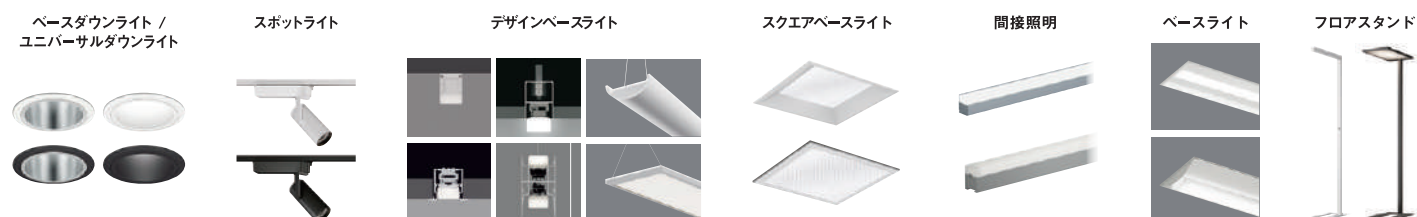
高い演色性に加え、 色味 (赤み、緑み) 調整が可能

色味を簡単に調整。赤みをプラスすることで食べ物をおいしく見
せたり、肌をイキイキと健康的に見せることができます。

※ Duv: 黒体放射軌跡からの偏差 (Δuv) を1000倍した値。マイナスの
値が大きくなるほど赤みが強く、プラスの値が大きくなるほど緑みが強
くなる。



Synca LINE UP 無線調光



次世代調光調色



Synca 特集号

- 01 ポーラ美術館「モネー光のなかに」展
- 02 長森いきいき倶楽部「Lachic」
- 03 「フレーベル館 Kinder Platz」
イオンモール新利府南館
- 04 UPI 表参道
- 05 永山祐子建築設計 新オフィス
- 06 YAKINIKU 55 TOKYO
恵比寿店
- 07 日本科学未来館
コンファレンスルーム 木星



「モネー光のなかに」展 会場 曲線の壁に展示された「モネ」の絵画と会場を大きく構成する3つのトタン素材の壁。そして膜天井と間接照明により、モネがカンヴァスに向き合っていたであろう、

どこまでも広がる空と自然の光を再現。

01 ポーラ美術館 「モネー光のなかに」展

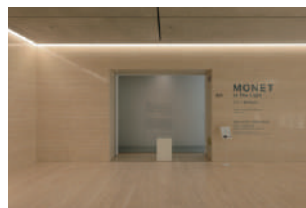
DATA
所在地：神奈川県足柄下郡箱根町仙石原
展覧会期間：2021年4月17日（土）～
2022年3月30日（水）
施主：ポーラ美術館
会場構成：株式会社中山英之建築設計事務所
照明デザイン：株式会社岡安泉照明設計事務所

Interview モネが描いた空の下の光を 『Synca』で再現する。

株式会社中山英之建築設計事務所
中山 英之 様



©Takashi Kato



「モネー光のなかに」展 会場入り口

ポーラ美術館は2002年に神奈川県箱根町に開館。「箱根の自然と美術の共生」をコンセプトとし、森に溶け込むような建物になっています。今回私たちは、展覧会の会場構成という、普段の建築とは異なるお仕事をいただきましたが、建築を作るように取り組みました。本展覧会では《ルーアン大聖堂》や《睡蓮の池》など、美術館のコレクションの中からモネの名品11点が紹介されています。

モネが描いたいろんな空の下を時空を超えて旅する『Synca』の光と共に。

美術館では、ふつう絵画には作品の数だけ個別にスポットライトが当てられます。一方、モネが実際に絵を描いたのは空の下でした。屋外には、対象の数だけ太陽があるわけではありません。今回の展覧会では、そんな大きなひとつの光をお手本に、美術館の天井全体を白い薄膜で覆い、天井と壁の境目にアールをつけて、どこまでも続く空のように、展示室の輪郭を消失させました。そして、その膜に上向きの光を照射することで、間接照明による影のない、ちょうど曇天の空の下にいるかのような質の光で、空間全体を満たしました。空の下、たった一つの光の下にいる。画家が風景と向き合っていた時に見ていたカンヴァスに、美術館の中でもう一度出会うような経験を作り出したかったのです。通常、モネのような近代の絵画に照射する照明の色温度は電球色2900K程度であることが多いのだそうです。時間帯でいうと夕暮れ時、ほぼ日没あたりの光に近い色温度です。一方今回は、日の出2時間後、日の入り2時間前の色温度に近い4800K（天井の膜に反射した絵画付近での計測値は4500K）に設定しました。これは、照明デザイナーの岡安泉さん（株式会



モネが《睡蓮の池》等を描いた自然光を想像し、日の出2時間後・日の入り2時間前の色温度に近い4800K（天井に反射した絵画付近では4500K）を今回の展覧会では設定。



《セーヌ河の日没、冬》を描いたであろう時間を想像して、夕暮れ時2900Kの光に空間の色温度を変えることもできる仕組みも試験的に用意した。

社岡安泉照明設計事務所代表）と共に、昼間の自然光をイメージする5000Kに始まり、4900K、4800Kと100K単位で今回の空間や作品群とのバランスを確かめていった結果、辿りついた選択でした。これまでのランプやその後のLED時代では、再現が困難だった設定であると同時に、それぞれ描かれた時間帯の異なる11点の絵画を実際に見ながら、相対的なバランスを絞り込むことのできる、『Synca』ならではの機能だと思います。美術品保護の観点から、180lx以下になるように照度を微調整できるのも、欠かせない機能でした。さらに、モネが見たカンヴァスとは違う、絵画と私たちの間に存在する「ガラス」への反射を消すために、額と正対する壁の曲線や色を何度もシミュレーションしました。この壁には、ごくありふれた外装材であるトタンを用いています。色も既製品から選んだ、どこにでもある素っ気ない素材です。微妙な緑色も、きっと日本の風景色からとられたものでしょう。空の下、なんでもない風景にカンヴァスを据えたモネなのだから、むしろそれが相応しいと考えたのです。それら全体が、大きな一つの光で満たされたとき、カンヴァスと一緒に画家の見た風景たちへ時空を超えた旅に出るような…。そんなことを想像してこの空間を設計しました。これは余談ですが、無線調光システム『Smart LEDZ』のシーンセクターハンディリモコンに、夕暮れ時（色温度2900K）をメモリーしておきました。例えば《セーヌ河の日没、冬》の前に立ってリモコンを押すと、その見え方の変化に誰しもきっと驚くことでしょう。かつて画家が見たであろう光が、『Synca』によって鮮やかに甦ります。

■使用器具

無線調光システム
Smart LEDZ Fit Plus



FX-438N
〈Fit Plus専用タブレット型コントローラ〉
FX-430W
〈Fit Plus専用ゲートウェイ〉

シーンセクターハンディリモコン



FX-431W
最大6シーン切替
1システムあたり最大10台登録可能

会場内
調光調色 間接照明



Synca Ra92
ERK9636W+SAD423X
調色：12000K～1800K相当
6911lm 49.0W



居室 サークadianリズムを整え、良質な睡眠へと誘うため1日の光をコントロール。



目覚めを促すように徐々に明るく

A 目覚め・起床30分前 (6:00～)
間接照明：色温度1800K 調光率30%
ダウンライト：色温度2700K 調光率30%

B 朝・起床時 (6:30～)
間接照明：色温度5000K 調光率100%
ダウンライト：色温度5000K 調光率100%



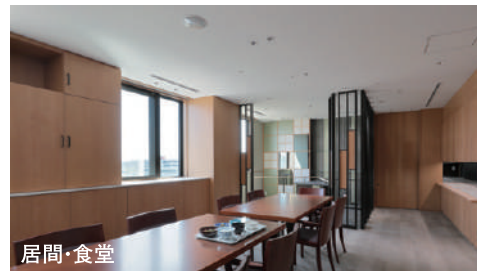
良質な睡眠へと導く光

E 夜 (19:00～)
間接照明：色温度2200K 調光率40%
ダウンライト：色温度2700K 調光率40%



深夜、眠りを妨げず、トイレ等の配慮も忘れない常夜灯を点灯

F 深夜 (21:00～)
間接照明：調光率0%
ダウンライト：色温度2700K 調光率1%

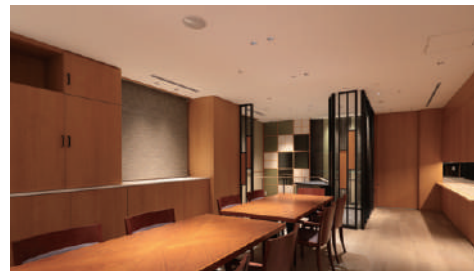


日中は覚醒を向上し、居眠りを軽減する光

C 朝～午後 (8:00～)
壁面：色温度12000K 調光率100%
テーブル面：色温度12000K 調光率100%

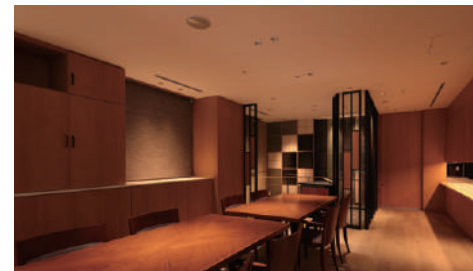


食事は、高演色 (Ra92) の光で
テーブル面を少し明るくし、
食事をより美味しく、より楽しく。



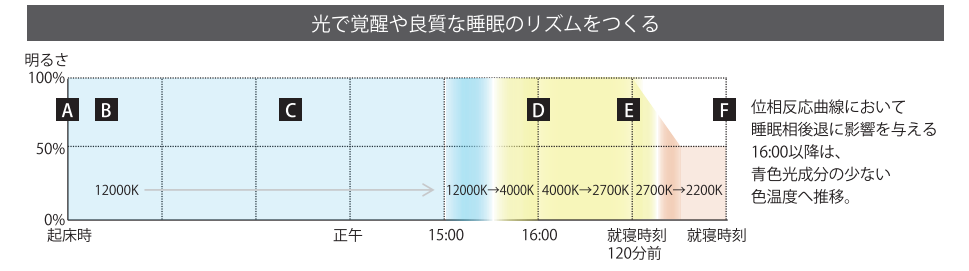
16:00 以降は、良質な睡眠へ向かう青色光成分の少ない

D 夕方 (16:00～)
壁面：色温度4000K 調光率80%
テーブル面：色温度6500K 調光率80%



暖かな光へと推移

E 夜 (18:00～)
壁面：色温度2700K 調光率30%
テーブル面：色温度2700K 調光率30%



02 長森いきいき倶楽部「Lachic」

DATA
所在地：岐阜県岐阜市
竣工日：2021年4月
施主：社会福祉法人高佳会
設計・施工：内藤建設株式会社
電気工事：内藤電機株式会社

Interview

自然な光、心地良い光を追い求めて『Synca』という理想の光に出会いました。

社会福祉法人高佳会 理事長 高田 良彦 様 (医学博士、歯科医師、介護支援専門員)



「ゲストに満足と笑顔を。地域に安心と輝きを。」これが、私たち社会福祉法人高佳会の経営理念です。ホスピタリティを大切に、岐阜県内に5つの高齢者福祉施設と4つの歯科クリニックを展開し、設立から20年を迎えました。既存のサービスにとらわれない、くつろぎの空間で最良のおもてなしをさせていただく。そんな思いを込めて、施設内では五感を活性化しながら、快適な暮らしを楽しんでいただくよう工夫を凝らしています。目指すのは、セーフティ、ホスピタリティ、アメニティの調和。「長森いきいき倶楽部 Lachic」は、以前より運営しておりました「長森いきいき倶楽部 アネックス」を増築し、高齢者向け介護複合施設として開設したものです。特別養護老人ホーム29床をはじめ、多くの施設が充実。当施設ではご利用様を「ゲスト」とお呼びしています。ゲストの皆様が人生で大切にしてくださったことに共感し、そのことを大切にしたいケアに努めています。「地域包括ケアシステムの進化」に貢献するため、ゲストの皆様が在宅であれ、入居であれ、住み慣れた地域での日常生活が継続されているという実感と満足感を創造していきたい。その先は「地域共生社会の創造」。これが私たちの使命・願いです。



穏やかな日常を続けるために光ができること。『Synca』を高齢者のケアに活かす。

照明とは「自然な光」「心地良い光」であるべきと考えています。今回、新しく施設を開所する、ちょうどいいタイミングで次世代調光調色『Synca』を知りました。ゲストにリズムのある生活と落ち着いた雰囲気照明を作りたい、と考えました。そのために、まずサーカディアンリズムを整え、良質な睡眠へと誘う朝から夜への光のコントロールを全館で実現。人にとって睡眠こそは健康の前提で、記憶の定着や感情のリセットに働く重要な要素と考えているからです。居室での朝は「目覚めを促す光」、起床から日中は「覚醒する光」、16時以降は良質な睡眠へと導くため、徐々に青色光成分の少ない色温度へ推移します。また、高齢者にとって一番の楽しみは「食事」。美味しく見える照明も大事なので、食材の色を自然に見せることができる高演色 (Ra92) に加え、食堂や居間といったその他の共有空間も同じように、リズムに配慮した色温度の変化を推進。職員の手を煩わせることなく、自動でスケジュールに合わせて光が推移します。私たちが期待しているのは、光で生活リズムを整えることが、認知機能障害 (昼夜逆転) など、感情や行動の改善に繋がるのではないかとことです。これまでの高齢者福祉施設では、機能性や視認性を重視し、昼も夜も同じ、白色4000K100%点灯が一般的でした。いちばん落ち着くシーン、いちばん活動できるシーンに最適な光はどういうものかを解析してケアに活かしたい。さらに、介護するにあたって、「その人」に寄り添うことがなによりも大切です。働く職員のためにも光には配慮しています。光が変化することで、職員は時間を察知し、気持ちも切り替えることができると考えています。高齢者の皆様がこれまで暮らしてきた環境とかけ離れていないことで、これからも「穏やかな日常」を続けることができる。そのことには、光の再現が有効な手段であり、『Synca』による色温度の変化を検証し、これから高齢者福祉施設の照明を探究したいと考えています。

このページのインタビュー動画を
ご覧ください。
アクセスはこちらから。



■使用器具

無線調光システム
Smart LEDZ Fit Plus

居室
調光調色 間接照明 L: 1200

FX-438N
(Fit Plus専用タブレット型コントローラ)
FX-430W
(Fit Plus専用ゲートウェイ)

ERK9708S+SAD404X
調色: 12000K-1800K相当
3000lm 23.1W

居室
調光調色 グレアレスユニバーサル
ダウンライト

ERD7610W+FX432N
調色: 6500K-2700K相当
605lm 10.1W

居間・食堂
調光調色 グレアレスユニバーサル
ダウンライト

SXD1011W+SX101N
調色: 12000K-1800K相当
657lm 13.4W

03「フレーベル館 Kinder Platz」 イオンモール新利府南館

DATA
所在地：宮城県宮城郡利府町
竣工日：2021年3月
施主：株式会社フレーベル館
設計：株式会社ランド
施工：株式会社スペース



昼 13:00 天窓：色温度12000K 調光率100% 全体：色温度4000K 調光率80～100%で日中の太陽光の下のような遊び場を再現



夕方 17:00～ 天窓：色温度2800K 調光率65% 全体：色温度4000K 調光率60～70%で夕焼けをイメージするような遊び場を再現

空間全体のダウンライトは、色温度が4000K固定のものにて、時間に応じて明るさ（調光率）を調整。疑似天窓からの光は、時間に応じて色温度と明るさを調整。空間全体の光が時間に応じて、自然かつ効果的に、変化している。

Interview

光で子どもの自発的な遊びを促し、 心の豊かな成長を育む。

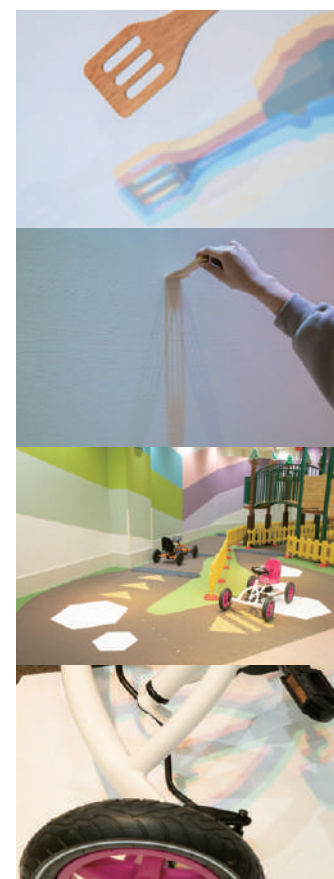


株式会社フレーベル館 子ども子育て研究室
(左)吉田 信慶 様 (右)室長 田口 将弘 様

「フレーベル館」の創業は明治40年(1907年)。名称は、ドイツの教育学者フレーベルの名に由来しています。フレーベル先生は世界で初めて幼稚園を創設し、保育士養成所を開き「幼児教育の父」と呼ばれています。私たちが最も大切にしている対象は、子どもたちです。子どもたちの健やかな育ちを、様々な手段で支えることが企業活動の中心です。それは直接子どもたちに関わる分野はもちろん、保護者、保育者、教育・学者、企業など、子どもたちを取り巻くすべての人や環境も含まれています。昭和2年(1927年)に、日本で初めてとなる月刊保育絵本「キンダーブック」を出版したのをはじめとして、教材、遊具の販売など、幼児教育に関わる事業を展開。中でも「アンパンマン」は、昭和48年(1973年)に初めてフレーベル館の月刊絵本に登場して以来、子どもから大人まで、幅広い年齢層に愛され続けています。創業以来110年以上にわたって、多くの先生と共に保育用品の研究・開発を進めながら「子どもたちの育ち」を考え続けた私たちが、多様な遊びを通して子どもたちと保護者の皆さんがいつも一緒に楽しみ、育つことを考えて作った場所、それが「Kinder Platz」です。

これからの幼児教育にとって、光の果たす可能性に期待しています。

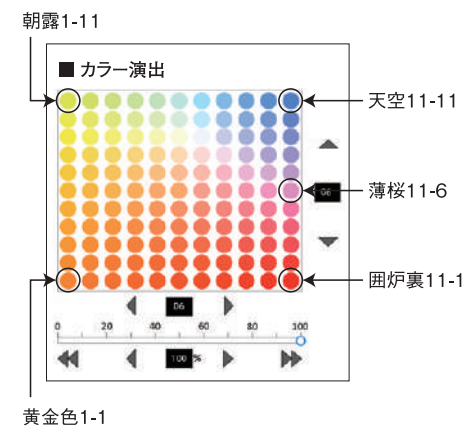
「Kinder Platz」は「主体性」と「創造性」を育む、子どもたちのための遊び場がコンセプト。絵本作家であり造形作家でもある松村太三郎氏の協力による「絵本の森」をイメージした空間づくりをしています。東京や千葉を中心に展開している当施設の初の宮城県進出となるのが、今回のイオンモール新利府南館です。今回、次世代調光調色『Synca』を採用したのは、子どもの成長や教育に良い照明を考えていく中で、子どもの自発的な遊びを誘ったり、活動内容に合わせた照明環境を作ることができると思ったからです。音環境と同様に光環境も子どもたちに影響を及ぼすと考え、当施設では3つのことで光に配慮しています。それらは「太陽光に近い波長」「サーカディアンリズム」「カラー」です。遊び場ということで、やはりカラーは子どもたちに好評です。時間毎で色の組み合わせが変わるカラーを重ねた光での影遊びや壁面の虹色演出を、当施設の「ガイド」と呼ばれる「遊びの案内人」と一緒に楽しんでいます。トッブライトが入ってきているかのような疑似天窓に『Synca』を導入。無線調光システム『Smart LEDZ』で夕陽のような2800Kから青空光の12000Kまでをスケジュール設定して運用しています。読み聞かせの演出では、シーンセクターハンディリモコンによるシーン呼び出しによって、絵本を読む人のみが明るくなり、子どもたちの集中力を高めるように配慮しています。当施設は託児ルームのように子どものみを預けるのではなく、大人と子どもと一緒に利用します。今後親子が落ち着く光や、集中できる光、活動的になる光などを研究して、『Synca』でお届けできれば良いと考えています。



「光あそび」のコーナー
パレットの121色より、5色を選択して
柔らかなカラーシャドーを実現。

さまざまなカラーシャドー遊び

ガイド(遊びの案内人)の方の手動リモコン操作で、色の組み合わせを変え、光でより遊ぶ仕掛けも仕込まれている。



黄金色1-1



■使用器具	
無線調光システム SmartLEDZ Fit Plus	シーンセクターハンディリモコン
	
FX-438N (Fit Plus専用タブレット型コントローラ) FX-430W (Fit Plus専用ゲートウェイ)	FX-431W 最大 6シーン切替 1システムあたり最大 10台登録可能
店内全体 ベースダウンライト 浅型白コーン	天窓 調光調色 スクエアベースライト
	
ERD6573W+FX388N ○ナチュラルホワイト(4000K) 370lm 35.3W	SXK4006W □調色:12000K・1800K相当 6030lm 49.3W



朝 (10:25～12:55)
物販エリア：色温度3000K 調光率100% 自然エリア：色温度10000K 調光率100%で朝の光を再現



昼 (12:55～17:30)
物販エリア：色温度3000K 調光率100% 自然エリア：色温度 5500K 調光率100%で日中の太陽光を再現



夕方 (17:30～18:30)
物販エリア：色温度3000K 調光率45% 自然エリア：色温度1800K 調光率18%で夕景を再現



夜 (18:30～19:30)
物販エリア：色温度2700K 調光率23% 自然エリア：色温度 12000K 調光率1%で月明かりを再現



深夜 (19:30～翌朝10:25)
物販エリア：調光率0% 自然エリア：12000Kと1800Kを組合せ、自然光のような様々な波長域を照射 調光率100%で植物を育成



DATA
所在地：東京都渋谷区
竣工日：2021年1月
施主：株式会社アンブラージュインターナショナル
設計：Happenstance Collective[HaCo]
照明デザイン：株式会社On&Off
作庭：西海園芸

Interview

自然と人々との架け橋となるために。 ショップでの“体感”をリアルにする『Synca』の光

施主：株式会社アンブラージュインターナショナル UPI表参道 店長 溜池 剛太郎 様
設計：Happenstance Collective [HaCo] 山崎 智貴 様 + ハビエール・ビヤール・ルイズ 様
照明デザイン：株式会社On&Off 山口 晋司 様 青田 弥生 様 作庭：西海園芸 山口 陽介 様

「UPI表参道は、自然エリアで商品に触れることができる体験型アウトドアストア。“自然と人々との架け橋”となるのが店の役割です」そう話すのは店長の溜池剛太郎さん。「私たちが取り扱う製品は本物です。イミテーションの中で見せることは意味がないと考え、ショップづくりを進めました」

「自然とは何か」を突き詰め『Synca』で育てる、本物の森

では、ショップづくりを進める上でどんな点に留意したのでしょうか。設計を担当したHappenstance Collective[HaCo]の山崎智貴さんは「物販店舗の空間デザインで常に考えるのは、商品本来の魅力を引き出すこと。今回のアウトドア商品は自然の中で使うもの。だから、空間にそういった状態を作り出すことで、本来の魅力や機能、意味合いを引き出せると考えました」と話します。「また、表参道という場所柄、企業の理念やコンセプトも併せて表現したい。ここだから、本物の自然を作り出す意味がある、とチャレンジしました。ニセモノではなく、それ自体が循環していく。木は成長するし、枯れるし、苔や虫も出ます。ショップスタッフが自然と向き合うことで、その循環や強さ、尊さを感じてもらう。この空間が“自然との関わり”を考えるきっかけとなることを目指したのです」

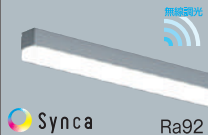
現在、ショップ内にある本物の森の木々は成長し、川も流れ、その川にメダカが育ち、今は蛭も育成している。その森を作ったのが西海園芸の山口陽介さん。「鑑賞するためのグリーンではなく、庭、自然に変えたかった。本物の森をどうやって再現できるか、生物多様性も含めて考えました。消費されるインドアグリーン

ではなく、本質的な自然と人間の距離感をこのショップを通じて伝えたかった。嬉しかったのはスタッフの変化ですね。“芽が1ミリ伸びました”と会話ができることは大きな変化です」ビル内で植物を育てるには光環境の整備が最も重要だと山口さんは話します。

その光の設計を担当した株式会社On&Offの山口晋司さんは、「ここはショップでありながら、自然体験ができる場所。自然環境をショップの中に作る＝自然と同じ時間帯を照明で作ったかった」と話します。「森を切り取ってショップに持ってくるという発想。その光を考えると“朝・昼・夕・夜”が必要でした。植物を育成するためには光合成が必要で、かつしっかりと強く育つことも必要です。そのための光の波長も考慮しました。次世代調光調色『Synca』によって閉店後の“植物を育てる光”、そして朝・昼・夕・夜の“演出の光”を表現することができました」

山口さんは、「当初、夜は真っ暗を設定していましたが、植物の色が違うと感じました。そして“自然って何だろう”と試行錯誤を重ね、色温度12000K調光率1%の月明かりに。また、ここでは森の木々をアップライトで照らすようなことはしていません。自然ではないからです。葉っぱに光が当たると、当然影もできます。森とは本来そういう場所なので、ありのままの自然を感じてもらえれば」と話しました。

まるで森の中にいるように、自然界の時間に合わせ、光がお客様も気づかないように刻々と変化していく。ビル内ながら自然を体感できる空間となりました。

■使用器具					
無線調光システム SmartLEDZ Fit		自然エリア 調光調色 スポットライト	自然エリア 調光調色 スポットライト	物販エリア 調光調色 スポットライト	物販エリア 調光調色 縦ライン照明
					
FX-442N (Fit専用タブレット型コントローラ)	FX-453B (Fit専用ゲートウェイ (プラグタイプ))	SXS3003W 調色：12000K・1800K相当 2758lm 39.1W 配光49°	SXS3002W 調色：12000K・1800K相当 2721lm 39.1W 配光32°	ERS6907W+FAD874M 調色：6500K・2700K相当 635lm 8.6W	ERK9708S+SAD404X 調色：12000K・1800K相当 3000lm 23.1W

05 永山祐子建築設計 新オフィス

DATA
所在地：東京都新宿区
竣工日：2020年8月
施主：有限会社永山祐子建築設計
照明デザイン：株式会社岡安泉照明設計事務所
写真：Nobutada Omote



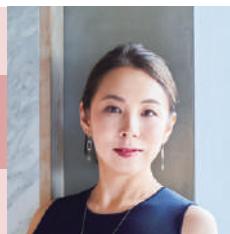
『Synca』による、色温度や色の検証



Interview

設計時の空間や素材の見え方を体感できる『Synca』の光。

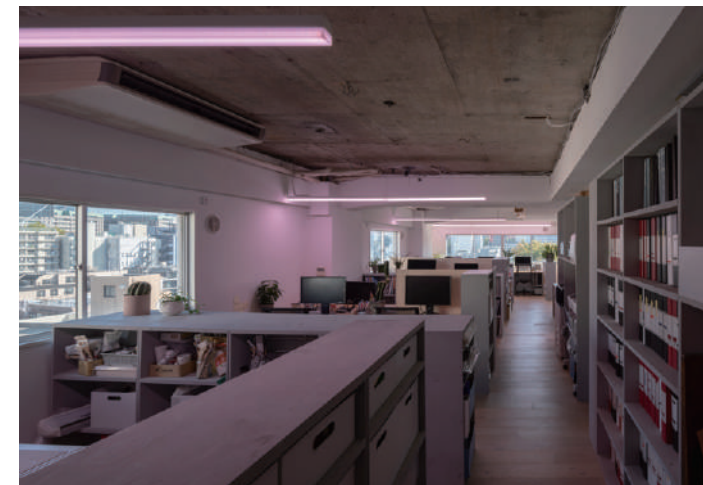
有限会社永山祐子建築設計
代表取締役 永山 祐子 様



2002年の独立以来、当設計事務所では、豊島横尾館、木屋旅館、カヤバ珈琲、LOUIS VUITTON京都大丸店など、多彩な建築を手掛けてきました。2020年7月、東京都杉並区から新宿区四谷にオフィスを移転。照明に関して照明デザイナーの岡安泉さん（株式会社岡安泉照明設計事務所代表）に相談し、8月に『Synca』という新製品が発売されると聞き、採用を決めました。

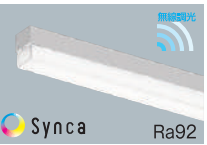
空間を構成する大事な要素である光を自在にシミュレーションできる『Synca』。

まだ事務所に設置して間もないので、今は色温度を変えていろいろと遊んでいます。例えば模型作業をしているスタッフは白っぽい光が良いと言うし、夜に雰囲気を作るときは赤っぽい方がいいと話しています。私も、試している段階です。役立つのは、素材を見る時です。建築計画中の室内の色温度に合わせて、その時の見え方を確認することができるのは良いと思います。器具は『Synca』シリーズの中より、シンプルでシームレスなLED照明「リニア50」を選んで、天井から吊り下げています。無線調光システム『Smart LEDZ』の専用タブレットは使わず、無料の専用アプリをダウンロードし、必要なシチュエーションに応じて設定したシーンを呼び出すといった、照明器具のみの導入という、最もミニマムな組み合わせで自由自在な照明制御をしています。自然光が入らないような商空間では、いちら光を自分で作っていかねばならない。私にとって光とは、空間の大事な要素です。それこそ、素材を選ぶのと同じぐらい早い段階で照明を決めます。そういった意味でも、1台の照明器具で色温度も明るさも、カラーも変えることができる次世代調光調色『Synca』は待ち焦がれていた照明です。自然光と人工光が混じり合うところは光が作りにくいのですが、そういったところもシミュレーションできる。また、今後ますますパーソナリ化が進むなかで「カスタマイズできる光」というのは新しいと思います。「光の種類が増える」というのも設計する方からいうと選択肢が増えるから良いことです。「自分はこういう光が好き」だとか「時間帯に合わせて色温度を変えたい」とかを選べるので。光は気持ちに直結していると考えています。空間で人をどういう気持ちにさせるか…光の役割はとても重要です。これからは、自然のうつろう光も人工光でつくることができるかもしれません。未来をもっと豊かなものにしていくために、光のさらなる進化を願っています。



時には『Synca』のペールトーンのカラーライティングで遊んでみることも



■使用器具 無線調光システム Smart LEDZ Fit  Fit 専用スマートフォンアプリ 無料ダウンロード Android用 / iOS用	事務所内 調光調色 ベース照明 リニア 50 L: 1200  Synca Ra92 ERK9940W+SAD402X 調色: 12000K-1800K相当 6500lm 49.0W
--	--



〈開店前・閉店後〉準備シーン

明るくし、作業性をアップ
色温度:3200K 調光率:100%



お誕生日シーン

お誕生日の方の
テーブルのみを照射

シーンセクターハンディリモコンにより簡単に、通常営業シーンからお誕生日シーンにボタン1つで変更することが可能。次世代調光調色『Synca』により床面の照明は囲炉裏のような赤の光へ。



通常営業シーン

色温度:2700K 調光率:40%

06 YAKINIKU 55 TOKYO 恵比寿店

DATA

所在地：東京都渋谷区
竣工日：2020年12月
施主：株式会社グリット
設計：SO,u株式会社
電気工事：株式会社トランスワーク

東京都渋谷区、恵比寿駅南の山手線沿い側道に面したアメリカ橋近くの場所に2020年12月オープンした「YAKINIKU 55 TOKYO」。「家族や、大切な人と、ロースターを囲んで、たくさんの笑顔が、こぼれて欲しい。最高のお肉で、体も気持ちも、元気になって欲しい。」という想いで生まれた焼肉店である。ヴィンテージ感が漂う木材をふんだんに使用した印象的な外観、重厚な扉を開くと、まるでホテルのような落ち着いたインテリアの店内。温かみのある家具や抑えた照明は、従来の焼肉店とは大きく異なった「大人の空間」となっている。厳選されたお肉はもちろん、2〜6名で使用できる半個室、2〜12名まで使用できるテーブル席を用意するほか、VIPルームも備え、上質な味と時間を提供している。

特別な日をスタッフの笑顔と『Synca』の光で演出

照明は、1台で色温度も明るさもカラーも変更できることから、次世代調光調色『Synca』を導入。シーンセクターハンディリモコンに、開店時や閉店後の作業を円滑にするための「準備」シーン、開店時の「営業」シーン、特定のテーブル席のみを明るくする「お誕生日」シーンを登録。その時々状況に応じて、スタッフが手動でシーンを変更している。友人や家族に祝ってもらう誕生日のおめでたい席は、店では「お誕生日」シーンの照明と、ハッピーバースデ이의BGM、スタッフ全員の笑顔でより特別な日を演出している。店内は半個室とテーブル席、カウンター席があり、半個室毎、テーブル毎で「お誕生日1卓様」「お誕生日2卓様」といった点灯シーンを設定。その日が誕生日の方が2卓にお座りの場合は2卓のみを明るく、3卓にお座りの場合は3卓のみを明るくし、かつ足元の照明は囲炉裏のような赤色に変化。誕生日の特別感をさらに光で盛り上げる。また、エントランスを入れてすぐのペンダントライトにLEDランプを使用。無線調光システム『Smart LEDZ』で5〜100%調光ができるようになっている。「お客様に寄り添う存在でありたい」という「YAKINIKU 55 TOKYO」が掲げる願いを、おもてなし感溢れる光の演出によって表現している。

■使用器具

無線調光システム
Smart LEDZ Fit Plus



FX-438N
〈Fit Plus専用タブレット型コントローラ〉
FX-430B
〈Fit Plus専用ゲートウェイ〉

シーンセクターハンディリモコン



FX-431W
最大6シーン切替
1システムあたり最大10台登録可能

テーブル当て
調光調色 スポットライト



SXS3001B
調色:12000K~1800K相当
2797lm 39.1W
(ロングフード加工)

足元灯
調光調色 リニア 32 L: 600



ERK9710S+SAD406X
調色:12000K~1800K相当
1500lm 12.3W

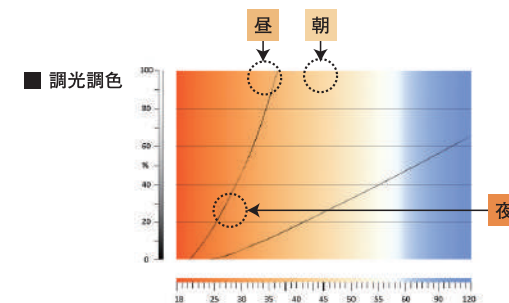
エントランス
調光 ランプ



FAD866X
電球色 (2200K)
430lm 4.5W
〈施主支給ペンダントで活用〉

07 日本科学未来館 コンファレンスルーム 木星

DATA
所在地：東京都江東区
竣工日：2021年1月
施主：国立研究開発法人科学技術振興機構



朝 天井間接照明：色温度4500K 調光率100% ダウンライト：色温度4500K 調光率100%



昼 天井間接照明：色温度3500K 調光率100%

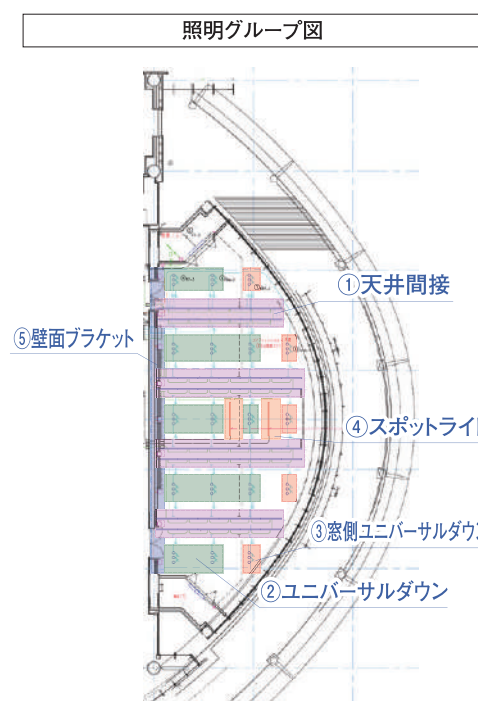


夜 天井間接照明：色温度2700K 調光率30% ダウンライト：色温度3500K 調光率30%

今年開館20周年を迎える日本科学未来館は、「科学技術を文化として捉え、社会に対する役割と未来の可能性について考え、語り合うための、すべての人々にひらかれた場」を理念に設立された施設である。かつては宇宙飛行士の毛利衛さんも務めた館長に、4月からIBMフェローの浅川智恵子さんを新しく迎え、「科学を伝える」「人材を育てる」「つながりをつくる」の3つをテーマにさまざまな活動を実施。子どもたちを対象としたオープンラボ、大人も参加できるワークショップやイベントなど、より良い未来をつくるための活動を積極的に推進している。また、開かれた施設として、イベントやセミナーなど多様な活用ができるコンファレンスルームの貸出も行っている。

次世代調光調色『Synca』の色温度と季節のカラー変化が、ひとつの空間の可能性を多彩に広げる。

コンファレンスルームの「木星」に、1台の照明器具で色温度もカラーも変えることができる次世代調光調色『Synca』を導入。狙いは器具のみを変更することによって、ひとつの空間の利用シーンや使い方を大きく広げること。間接照明は既存の造作を活用しつつ、シームレスな『リニア32』にリプレイス。ダウンライトはリニューアルプレートを活用し、埋込穴サイズφ185からφ100に変更。グレアレスダウンライトを採用することで、より器具の存在感を抑え、光の効果だけを空間に印象つけた。また、様々な方に貸し出す施設であることから、使用側が時間やイベント内容等に応じて、朝・昼・夜の色温度と明るさの変化や、季節のカラー設定による空間演出を好みで選ぶことができる。シーン選択は、専用のタブレット型コントローラもしくは壁付けリモコンで簡単に操作可能。朝は色温度4500K調光率100%、昼は色温度3500K調光率100%、夜は色温度2700K調光率30%に。春は薄桜11-5、夏は天空11-11、秋は黄金色1-1、冬は黄昏8-1にと、空間全体を印象的な光景へと変化させることが可能となった。さらに、無線調光システム『Smart LEDZ』による細かなグループ設定によってルームの一部のみを点灯するなど、分割した利用も簡単に実現。『Synca』によって、空間の活用シーンがさらに多彩に広がるリプレイス例となった。



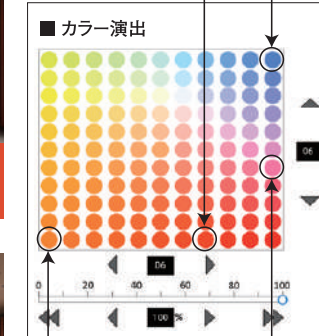
無線調光システム『Smart LEDZ』による細かなグループ設定により、それぞれの色温度や明るさを自由自在に設定することが可能。



冬 天井間接照明：黄昏8-1 調光率10%
スポットライト：黄昏8-1 調光率100%
ダウンライト：色温度3500K 調光率100%



秋 天井間接照明：黄金色1-1 調光率50%
スポットライト：黄金色1-1 調光率100%
ダウンライト：色温度3500K 調光率100%



121色のカラーパレットから光の色を選択。空間全体をやわらかく淡いカラーにより印象的な光景へ変化させることが可能。



夏 天井間接照明：天空11-11 調光率100%
スポットライト：天空11-11 調光率100%
ダウンライト：色温度3500K 調光率100%



春 天井間接照明：薄桜11-5 調光率100%
スポットライト：薄桜11-5 調光率100%
ダウンライト：色温度3500K 調光率100%

■使用器具					
無線調光システム Smart LEDZ Fit	シーンセレクター壁付けリモコン	コンファレンスルーム内 調光調色 間接照明 リニア 32 L: 1200	コンファレンスルーム内 調光調色 グレアレスユニバーサル ダウンライト	特注リニューアルプレート 既存埋込穴φ185用	コンファレンスルーム内 調光調色 スポットライト
					
FX-442N (Fit専用タブレット型コントローラ)	FX-427W 最大6シーン切替 1システムあたり最大 10 台登録可能	ERK9708W+SAD404X 調色:12000K-1800K相当 3000lm 23.1W	SXD1009W+SX101N 調色:12000K-1800K相当 767lm 13.4W	枠:白艶消 開口寸法:φ100	SXS3009B 調色:12000K-1800K相当 805lm 13.8W